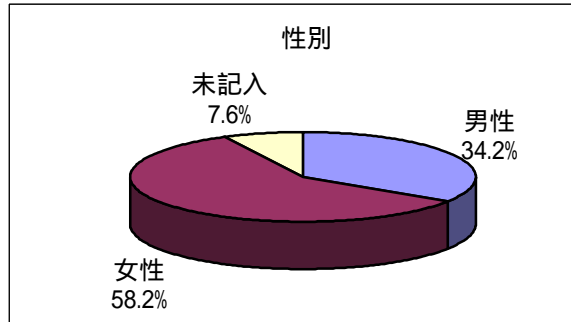


調査対象：本フォーラム参加者（275人）
 調査方法：フォーラム終了後、会場にて回収
 有効回答数：158件 回答率：57.5%

1. 参加者の属性について

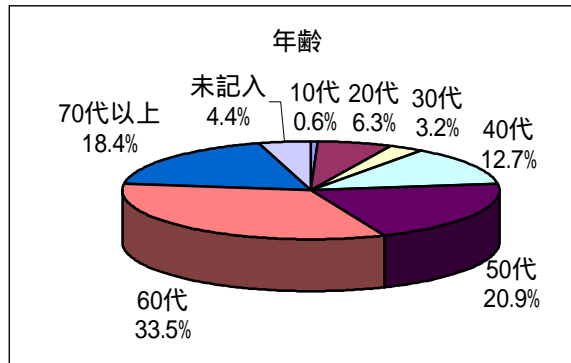
性別

	性別	人数	%
1	男性	54	34.2%
2	女性	92	58.2%
3	未記入	12	7.6%
	計	158	100.0%



年齢

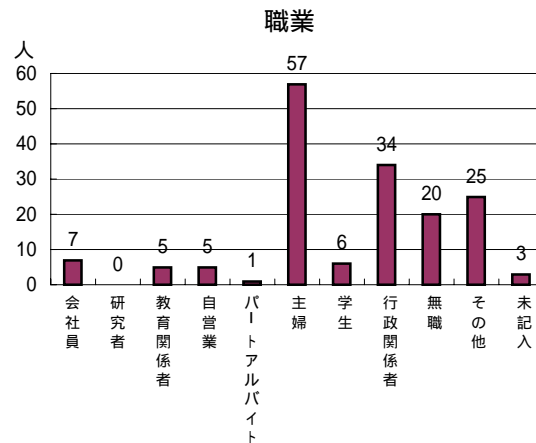
	回答	人数	%
1	10代	1	0.6%
2	20代	10	6.3%
3	30代	5	3.2%
4	40代	20	12.7%
5	50代	33	20.9%
6	60代	53	33.5%
7	70代以上	29	18.4%
8	未記入	7	4.4%
	計	158	100.0%



2. 参加者の属性について

職業

	回答	人数	%
1	会社員	7	4.3%
2	研究者	0	0.0%
3	教育関係者	5	3.1%
4	自営業	5	3.1%
5	パート、アルバイト	1	0.6%
6	主婦	57	35.0%
7	学生	6	3.7%
8	行政関係者	34	20.9%
9	無職	20	12.3%
10	その他	25	15.3%
11	未記入	3	1.8%
	計	163	100.0%

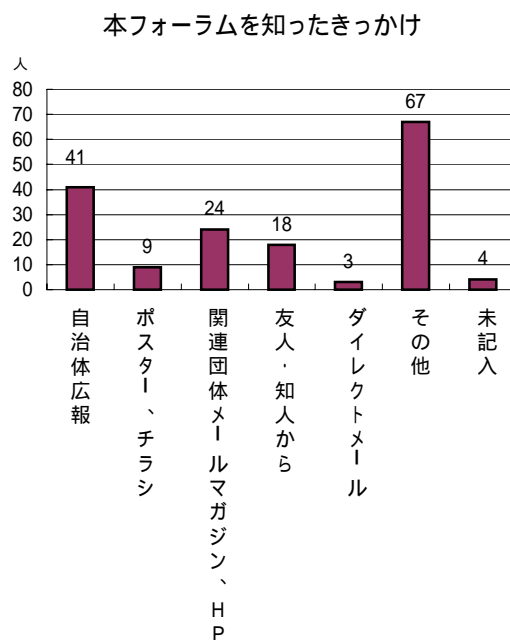


その他回答

回答	人数
保護司	8
更正保護委員	1
ひょうご被害者支援センター事務局	1
更生保護女性会	5
介護福祉士	1
団体職員	2
大阪BBS連盟、保護観察中の少年の再犯を防ぐ青少年団体	1
医療関係	1
自由業	1
看護師	1
僧侶	1
市議	1

3. 本フォーラムを知ったきっかけについて(複数回答可能)

	回答	人数	%
1	自治体広報	41	25%
2	ポスター、チラシ	9	5%
3	関連団体メールマガジン、HP	24	14%
4	友人・知人から	18	11%
5	ダイレクトメール	3	2%
6	その他	67	40%
7	未記入	4	2%
総計		166	100%



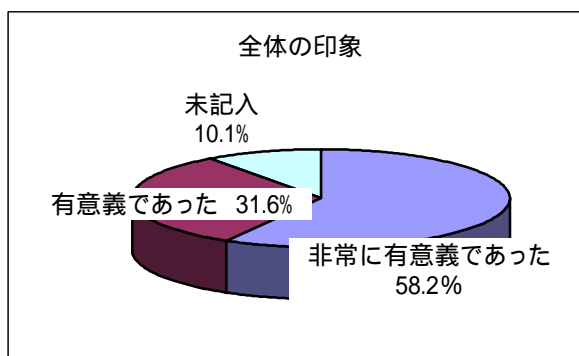
その他回答

	回答	人数
・	観察所	1
・	各種団体	1
・	区役所	2
・	大阪アドボカシーセンター講座	3
・	協力機関	1
・	自治体委員会	1
・	大阪保護観察所	3
・	保護観察所	5
・	上部機関からの広報	1
・	保護司会	11
・	更生保護女性会	11
・	関連団体からの通達	3
・	夫より	1
・	担当課からの案内	1
・	新聞	1
・	厚生労働省より	1
・	法務関係、組織	1
・	関係機関より依頼	1
・	保護司担当者からのお知らせに	1
・	他行政機関からの連絡	1
・	府からの連絡	1
・	本日の朝日新聞朝刊	1
・	政府	1

4. 本フォーラムについて

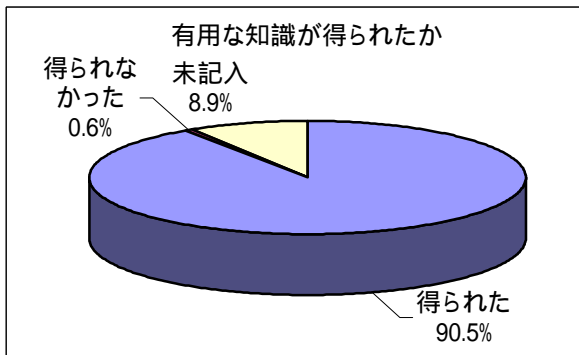
(1) 全体の印象について

	回答	人数	%
1	非常に有意義であった	92	58.2%
2	有意義であった	50	31.6%
3	あまり有意義ではなかった	0	0.0%
4	未記入	16	10.1%
	計	158	100.0%



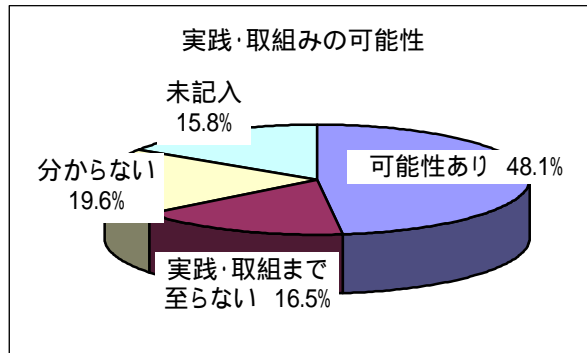
(2) 本フォーラムで有用な知識が得られましたか？

	回答	人数	%
1	得られた	143	90.5%
2	得られなかった	1	0.6%
3	未記入	14	8.9%
	計	158	100.0%



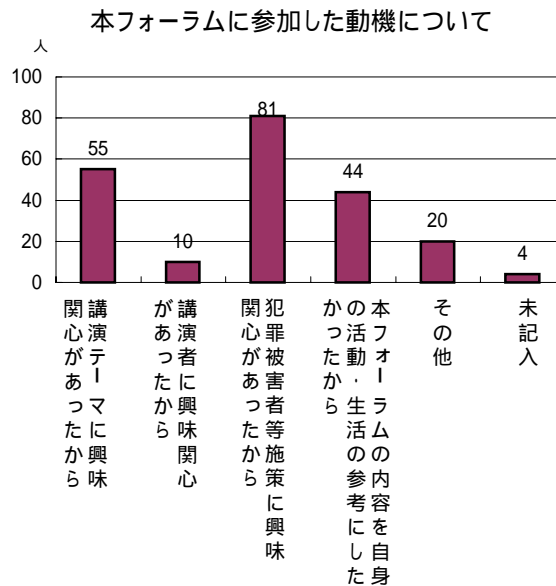
(3)(2)で有用な知識が得られたとお答えの方へ、
本公演で得られた知識を今後の生活で実践または取組みをしていますか？

	回答	人数	%
1	実践・取組の可能性あり	76	48.1%
2	実践・取組を行うまでには至らない	26	16.5%
3	分からない	31	19.6%
4	未記入	25	15.8%
	計	158	100.0%



5.本フォーラムに参加した動機についてお答えください。(複数回答可)

	回答	人数	%
1	講演テーマに興味関心があったから	55	25.7%
2	講演者に興味関心があったから	10	4.7%
3	犯罪被害者等施策に興味関心があったから	81	37.9%
4	本フォーラムの内容を自身の活動・生活の参考にしたかったから	44	20.6%
5	その他	20	9.3%
6	未記入	4	1.9%
	計	214	100.0%



その他回答

回答
友人の誘いできました。きてよかった。
自らも犯罪被害者であるため
将来犯罪被害者の方々のためになるような仕事に携わりたいから
保護司会の連絡
真逆からの視点でみてみたかった
職場ですすめられて
上司命令
参加することを依頼された
犯罪被害者の方々の声を更生保護に関わる青少年ボランティア等に届けにくいから。私自身も被害者として婚約者を殺されたから。
関連団体
保護としての立場にて生かせるらしい
更生保護女性会に入って活動をしているので興味があった。
更生保護女性会に参加要請の案内があった。
他 行政機関からの連絡
府からの案内

6. 犯罪被害者等について

(1)犯罪被害者等の現状について

回答

- ・被害者ばかりがくるしんで居られる事がよくわかりました。もうすこし国がしっかりしてほしいです。
- ・本日の被害者のお話を聞くまで知らなかったです。これはどんな事であっても支援するべきだと思う。
- ・私は犯罪被害者遺族です。最近司法に関しては前進したと思いますが、補償問題に関しては失望しています。
- ・このフォーラムに来て、被害者の心の重みに、驚き言葉がありません。
- ・法整備や支援が広がってきたとはいえ、まだまだ被害者は置き去りにされている。
- ・フォーラムを聞きまして被害者の苦痛、改めて感じました。生の声、胸が苦しくなりました。
- ・犯人が精神異常アリの場合、罪にならないのがふにおちない
- ・無念な思いを力に変えていらっしゃる心の強さに敬意を表します。
- ・社会が注目し始め、以前よりかは法制度や支援に関して改善されている。しかし、まだまだ不十分であると思います。
- ・大変悲しい目にあわれたのに、後々もすくわれる事のないと云う事が残念に思います。
- ・社会の中で犯罪被害者の事を理解し認識している人は非常に少ないというのが実感です。一人でも多くの人達に被害者の現状を知ってもらいたいと思います。
- ・一般的に関心が深く、被害者だけの活動のように思う。
- ・非常に厳しい生活の現状に胸が痛みます。犯罪予防と被害者の救済に力をいれたいと思います。
- ・以前に比べれば様々な面で支援の取組が拡充されてきたと思います。
- ・加害者が守られてばかりいるし、被害者には、当事者になってみなければわからない、怒り、悲しみ、やりばのない心の痛み、周りの人の無理解がたくさんあり、そればどうしてもわかってもらえないと思う。
- ・予期せぬ被害にあって、気の毒に思う
- ・考えていなかったが大変気の毒な事だから、何とか被害者支援を実施してほしい
- ・生活支援と心のケアが必要
- ・一括して取り扱う部署・役所がない
- ・理不尽な扱いだと思ふ
- ・実情を知り驚きました
- ・あまり知らなかったが一つでもよくなっていくように
- ・考えていない分、今回でよくわかりました。矛盾を正さねばならないと思いました。
- ・一般の人達は自分の身にふりかからない限り感心がないのが悲しい今日の発表する迄に苦しい日を送ってこられたのが理解できます。病気で家族を亡くすことも悲しいのに人の手にかかって命をなくすことの無念さ苦しさがよくわかります。
- ・被害にあったうえに、マスコミ被害にあい、ケアの為の費用、心の問題、近隣との関係、住居の問題、どの問題をとっても国も誰からの保障もなく、裁判すら傍聴席一般席にて黙して聞かないとダメな理不尽。被害者に対する費用の低さに怒りを感じる。
- ・支援体制について、不十分だと思う。
- ・加害者の権利が強く守られている(人権の乱用)
- ・身近に知りませんでしたのでびっくりしています
- ・やっとこの法律ができたという感じ しかしまだまだという感じ
- ・被害者の方の現状等あまり知られていない
- ・被害そのものが被害者と家族を苦しめ、その後の裁判が更に追い討ちをかけ、苦しみは一生涯つきまどっていく。実に悲惨の一言に尽きる
- ・1人1人の苦しみを多くの人にわかってもらう様に
- ・悲しいの一言です
- ・自分がその立場になった時の事を考えると、人形劇を見てゾクとした。もっともっと活動を広めて国民の知識として学校教育にもとりいれるべきだ
- ・最近では事件が多くなっているのでは他人事だとは思われない。被害後もいろいろ苦勞をしておられる事を知り、加害者の立場で考えている保護司の仕事にも疑問さえ感じた

回答

- ・被害者が小さくなって生きていかなければならない現状に怒りをおぼえる
- ・余りにもお気の毒としか言えません
- ・犯罪被害者等の基本法が出来、被害者の権利は改善されたと思うと、被害者の会が出来て約10年もかかっていると思う。まだまだ被害者の思いには、届いていないと思う。
- ・余りにも今までおきざりにされてきたということ。その苦しみ、悔しさ、辛さに いかげばかりと思います。
- ・事件による身体的・精神的被害だけでなく、経済的な問題、二次的な被害など、想像を絶する状況におかれているにもかかわらず、保障・理解、つぐないが不十分であると感じた。
- ・次第がおいついていない。国はもっと頑張っていくべきだ。あまりに被害者のことは伝えられていないのでは。
- ・現状をフォーラムではじめて知りました。
- ・犯罪被害者への支援はまだまだ不十分と痛感
- ・救済制度のPR不足。情報の未伝達。
- ・テレビや新聞で色々事件の事を知ることが被害者の方はマスコミに被害にあっておられるのだと思いました。
- ・まだまだあたり前の権利が認められていないと感じています。裁判は被告側の救済が主な目的のため、被害者の声は非常に法廷での審理にはむかないのだと感じています。
- ・これまでも、現在も、理不尽で、言葉に言い表せないほど、苦しい状況に追いやられていると感じた。
- ・まだまだ地域の理解は進んでいないと思う
- ・お話を聞いて、始めて犯罪被害者保障の流れをしり、十分進んできていると感じましたが、費用面などまだまだ改善すべき点は多いと思います。
- ・全然何も知らなかった。支援とか、被害者の権利とかが考えだされたのが最近になってからだということがすごくおどろいた反面、なんて理不尽なんだろうと思った。
- ・まだまだ不十分
- ・被害にあわれた方、家族の方々の心の痛み、地道な活動をされてきている事を強く心にしみました。
- ・犯罪被害者等基本法が成立したことはとても大きいと思います。ただ、これは裁判上での話がメインで、地域社会や職場での理解のなさ、犯人側の謝罪問題、生活費など、解決しなければならない事は多々あると思いました。
- ・私は身体に新しい命を宿した婚約者を殺害されつつも、少年犯罪の保護観察に関わっています。真の真実公表と再犯防止。そして犯罪が社会から消失するために社会・地域でどのような支援ができるのかを全ての関係者で協議できるといいと思います。
- ・被害者救済の法令をつくるべき
- ・もっといろんな所で講演してほしい
- ・物理的な面については、普通は日々行われている。心理的な面については困難であろう。
- ・(被害者の活動が)実を結んだ
- ・被害者家族の心情を思うと自然の立ち直りと風評のこわさをあらためて感じる。被害者家族の心情をさかなでない様地域で守っていかななくてはならない
- ・知り得なかった現実を聞き、被害者の辛い心の内が少しわかり、理不尽さを痛感しました。心からがんばってほしいと思っております。
- ・犯罪被害者が年々増加しているのに非常に驚いている。何日の時も突然の出来事にどう対応していけばよいのか考えさせられる
- ・不公平
- ・尊属殺人から最近は無差別殺人へと罪なき人が被害にあう時代へと移行。一昔前迄は考えられなかったことである。
- ・現実には体験をしていないので、本日の内容はおどろきでありました。
- ・犯罪被害者等基本法が制定され、それ以前よりはある程度改善されたと思う。しかし、まだまだ被害者等の権利が確立されているとは言えない。
- ・実情を知らなかった
- ・今後も少しずつ改善される様に望みます
- ・人形劇・体験談によって知りえただけです。精神的のほかに色々な面で大変な状態におかれていると思います。メディアについても悲しんでいる被害者の心情を無神経なたずね方をしないでほしい
- ・だいぶ改善された様ですが、まだまだ変なところが多いと思います

回答

- ・まだまだ行政他支援が不十分である・国民(府民・市民)の理解が不十分である。
- ・被害者はやっかいな存在だと人形劇で知り、がっかりと同時に加害者側は弁護士が付き優遇されている事に腹が立ち、まちがっていると思います。
- ・世間の関心をもっともっと取り付けたいです。
- ・犯罪被害者の知る権利が余りにもないがしろにされている。加害者が保護され被害者には全く知る事ができない理不尽さに大きな怒りと疑問を感じる
- ・今回初めて得る事が出来た
- ・まだまだ知識が足りない(被害者の要求など)
- ・全く疎外されている
- ・精神面でとっても大変な思いをされていると思います。
- ・被害にあっただけでも大変苦しいことだと思いますが、その事件後の私達被害にあったことのない者からは想像もできない程、それ以上の苦しみがある事を知りました。加害者の方が守られているとも思いました。
- ・支援体制が未整備である。社会全体のものと認識されていない。
- ・犯罪被害者の現状を今日聞きそのひどさに驚いた
- ・まだまだ置き去りにされている部分が多い
- ・人形劇を見せて頂いて被害者・家族の生活まで大きな損失を受けていることがわかった
- ・被害者補償がなされていないことに驚きました。
- ・大変だなあと思います。
- ・私達が思っている以上に、つらい思い(色々な面)で過しておられる事を再認識し、保護司として、援助の手を差し延べる事、又、自治体(摂津)の様に地域ぐるみで支援する事は大切であると思う
- ・2000年以前の事を思うと、すこしはよくなってきてよかった。今まで、現状を知ることがなかったので、今日は被害者の立場はほんとうにつらいことだと思った。
- ・地域でよく知られていないのが残念。
- ・社会的にまだまだ正しく理解されているところまでには至っていないと考えています
- ・セミナーで被害者が泣き、犯人が日常生活を送っている事が多い中に矛盾を感じ裁判の甘さに驚く。
- ・年月がたっても今だに苦しんでいる方々の現状を知りました。被害者保護法が成立しても被害者にはまだまだ不十分だと思います。
- ・岡本真奈美様の報告には泣きました。それにしても出所した犯人は会社の社長として経済的にも余裕があるかと思われるのに医療費の支払いもないということ、法的に処置できないのでしょうか。あまりに非合理です。
- ・犯罪被害者等基本法が制定され、かなり改善されたとはいえまだまだ支援が足りないなと感じます。
- ・思った以上に酷いと思った。
- ・まだまだ全国的に理解されていない様に思う。今後共被害者の方々に陽のあたるように政治的に立法されることを望む。
- ・日本社会はまだまだ加害者に対する支援が手厚い。一般市民にとっても犯罪被害者に対する支援も低い。地域に於いて実態をもっとハッキリと意識することも今の悪い社会では大事である。いつどこで誰が被害にあうかわからない不安な社会だから絶対必要。
- ・自分達もいつ、どんな時に被害者となるかわからないという不安がある。
- ・まだまだ厳しい現状であると思う。現状を知らない人達が大多数である。
- ・犯罪による被害というのは、とても広範囲である事を教えられた。まだまだ被害者の現状は厳しい
- ・二次被害や、裁判への参加に関する支援環境が整っていないことにショックを受けました。

(2)(1)に対して、どのようにすればよいと思いますか？

回答

- ・地域の力が大事な事だと思います。声をかけあっていきたいです。
- ・今すぐには思いつきませんが良い案には賛成します。
- ・国民1人当たり何円か出しあい自賠償のような制度を作るべき
- ・どの様にすれば、、、と、国が助けるべきと思います。精神面も金銭面も一杯一杯助けてほしい
- ・国、都道府県、自治体、地域が一体となって被害者に対応できるシステムづくりが必要
- ・国、地域の被害者へ配慮、協力をしなければならない。他人事ではない！
- ・各区社会福祉協議会を通じて講演会をしてほしい
- ・啓発活動、マスコミの力をおおいに利用する
- ・少年法の撤廃
- ・あらゆる会合に出て、被害者の声を伝えていく。私たち現場の人間は会合の場をどんどん広げていきたいと思う。
- ・家庭・教育による深さが必要。
- ・広報活動は基本であるが、人の輪(口コミ)を広げる。
- ・法的措置を整備し、実施してほしい
- ・様々なケースをみて考えなくてはならないと思う。
- ・法の知識もなく、初めての事ばかりなので、警察や裁判所、役所等が、親身になって対応してほしい。当事者にとっては、日常茶飯事の事でない。(それを理解して欲しい)
- ・有識者でしっかり考えていただきたい
- ・犯罪予防に力を注ぐ
- ・国民、政治家にもっと現実を知らせるべき
- ・身近な事として考えます
- ・自治体の協力が必要である
- ・摂津市の様な働きかけが大事
- ・毎日のように事件がおこる中皆どの様に気をつけていくのか防ぐ事ができない現状。社会が悪い家庭が悪いと言うが何をどうすれば安心した生活が出来るのでしょうか。何が起こっても残されたものが強く生きる事が大切でしょうか。がまんすることが大事でしょうか。前向きに生きてほしい。地域の支援も大事だと感じた。
- ・被害者支援金を国が負担する制度を作る。保障問題に対応する。加害者の状況を被害者に報告する。被害者のケアをする人脈がいるし、あすの会の発展とそれをマスコミがもっと取りあげ被害者の代弁もする。また、心から被害者の立場がわかる様な対応を考え、被害者に十分に気配りできる支援をするため、弁護士を派遣できる制度を作る。市町村の支援会をつくる。もっと大きな支援組織をつくる。マスコミの対応もその組織ができれば良いとおもう。地域自治体の組織化。
- ・物心両面において、支援体制を充実するために、様々な機会をとらえ、広報等活動を継続して行う必要がある。
- ・弁護士の質をあげる事
- ・もっともっと今後充実して欲しい
- ・講演会等で聞くことは大変よいと思います。
- ・国があらゆる手段をもって加害者より少しでも被害者に補償するような形で考えるべきだ
- ・二度と同じ想いをしたくないので犯罪防止の為に輪を広げることが大切だと思う
- ・とりあえず行政自体が動きを起こす事、地域で運動をおこすこと
- ・人形劇でのアピールはよく理解できた。フォーラムを開く、出張人形劇はとても良い方法だと思う。
- ・よくわからない
- ・地に足のついた継続的取組が必要。繰り返し国民(身近な地域の子供たちの世代から)に、被害者の存在を知らせる取組を続けることだと思います。
- ・被害者の支援を裁判、警察など全くなかったのが、今やっと動いた事ほっとした。
- ・被害者によりそって、気持ちを聞いてあげる。いろいろな支援をする行政機関があったらと思います。
- ・正直思いあたらない。裁判の置き換えが”3原色”もっていかれるのと、同じ被害者同士が話し合うことウラムはウラムで果たすことはできないだろう

回答

- ・いろんな場所でフォーラムを開催したほうが良い
- ・人の生命をうばった者は死刑にすればよいと思います。
- ・マスメディアへの働きかけ もっと広く知らしめる行動に
- ・被害者を救済する機関が必要だと思った
- ・全ての費用(交通費・弁償)を国が肩代りして後から加害者・犯人に払わせる。
- ・行政にもっと意見を言うべきだと思います。
- ・少しの情報公開が必要だと思う
- ・犯罪が何故おきたのか。そのことを社会全体で考えていくべきだと思います。
- ・被害者の痛みを私たちが理解すること。・制度の充実
- ・誰もが被害者になる可能性はあるわけで、この様な講演機会を通じ被害者等の現状について理解を広めていくことが必要である。
- ・格差のない各自治体の取組みが必要だと思います。
- ・社会の支えが必要
- ・広報の充実。
- ・マスコミもひどいと思いますが、私達もマスコミを通さないと何もわからないのでやはり被害者の方もつらいと思いますが声をあげてほしい
- ・もっと多くの人々にこの現状を認識してもらわなければならないので被害者の方々や、その方たちを支えておられる方、また今日の出席者で、現状を1人でも2人でも多くの人たちに伝えて「知って」もらえることが大事だと思います。
- ・誰もが犯罪にあう可能性があるということを広めていく必要があると感じた。
- ・司法や制度の改正をすべきで、市民側からまず現状をもっと多くの人を知り、意識を変えるべきだと思います。
- ・私みたいに、現状を何も知らないような人にももっともっと現実をしらせるべき。そうでないと変わらない。
- ・地方公共団体、関係機関の連携により被害者の視点にたつことが重要
- ・地域における広報と支援の輪と理解を広めることが大事だと思う。
- ・事件に対する因果関係をもっと詳細に伝えること。マスコミ「～が、に殺害されました」だけでは、人は憶測します。もしかしたら被害者にも悪いところがあるかと思える可能性はゼロにしなければなりません。相手の立場に立って考える”思いやり”の精神を、教育現場にしっかり取り入れる。腹黒政治家の懐に入る血税をきちんと被害者支援にもまわす。
- ・特に少年法に関してどちらにも関わる市民団体で討論会をしあって本当の犯罪防止と健全育成の社会ができれば良いと思います。
- ・行政の強化、援助。
- ・経済的支援については、積極的にやるべき。心情的な面に関しては慎重にすべき。
- ・続けること
- ・他人事として考えるのではなく自分の身になって考え行動する。
- ・法制化
- ・私のように知らない人達にほんとうのことを知ってもらうこのような機会を多くすること、続けることが大切だと思います。
- ・はっきり言えない(私の知識が不足だから)
- ・出生前から施設などで育ち親の愛情が不足又は与えられていない青少年が少なくない。家庭のあり方、社会の取組方に期待大の時代・殺人犯の刑が軽すぎる。極刑に近い刑を望む。
- ・本日を機に、犯罪被害に対し、目を向けて行きたいと思います。
- ・被害当事者への具体的支援施策の打ち出しと、被害当事者を支える(地域)社会の構築
- ・1人でも多くの人に関心を持つ様になれば良いと思います。
- ・被害者の現状をもっと知らせるべき、裁判に関しても同様
- ・法律の改正が必要だと思います。
- ・国・府・市町村等が十分に連携を図り、施策・事業の充実をはかるとともに、国民への理解増進・啓発に努めなければならない

回答

- ・被害者側にたって、裁判は行うべきだと思います。人を殺せば、死んでつぐなうべきだと思います。死刑になるべきかと思います。
- ・大変な努力が必要に思いますが、この活動を続けていってください。
- ・今、会の活動、世論に押されある程度裁判への参加、情報の開示がされつつあるが、まだ不十分である
- ・被害者の治療等は当然加害者が支払うべきであるが、国が全て支払い、後に加害者から撤収すべきと考えます。
- ・会員となりがんばって頂き光栄です
- ・今回の様なフォーラムを各地で行う。一般市民への周知を増やす(テレビ、ラジオ、新聞でとりあげる)
- ・被害者参加をより望む
- ・まわりが悪い感傷をしないであげたいです
- ・被害者に対する相談システムがスムーズに行える様になればと思います。犯罪のおこらない街に一人一人が心がけることは大事ですね。加害者以上に被害者を守ることが非常に大事だと思います。
- ・被害者の行政、省庁、メディア一体となった啓蒙、問題提起。
- ・被害者への救済を考える
- ・近年、凶悪犯罪が多発している。被害者間の連携をより強くし声を出し続けることが必要
- ・国家を支えている家庭が、子どもを育成する。ルール(他人を殺傷、財を盗む)を正しく教え、学校での集団生活を営む上で、特に厳しく、教育していくことが大切なことと思います。
- ・被害者の現状を広く訴える。国等の経済的、生活的支援制度を充実する。
- ・犯人が被害者に対して謝罪や補償が義務づけられるような措置を法律で定めてほしい。伊藤様の話の中に刑務所での更生教育が果たされていないという指摘がありました。民間との共同刑務所も開所されていると知り、その点が一層気になります。
- ・被害者の方とその周りの方だけで、声を上げるのではなく、現状をもっと多くの方々に知ってもらい、みんなで声を上げることが大切だと思う。
- ・もっと色々な方面に被害者の状況を伝えていくべき。
- ・国民全体がもっと理解する場をもつこと。政治的にも被害者の方々に対する支援立法を考えてほしい。
- ・ふせぎようがない現状で、外にでないように。でも、それは、不可能だと思うので対策はありません。
- ・多くの人に現状を知ってもらう必要を強く感じます。
- ・日本人のものの考え方や見方を変える必要がある。地道に1つずつ解決するしかないか？
- ・こういった機会を増やしていただくことを(大変な部分も多いでしょうが)、又傍聴することができた私達が感じたことや得た知識を周りに伝えてより多くの”一般の目”の意識の高さを求めていくことが必要だと思います。

(3) 今後も同様な講演会を開催した方がよいと思いますか？

回答

- ・大変そう思います。(28名)
- ・被害者だけでなくもっと一般の人にも受講してもらえるように
- ・何回も企画され多くの人々にPRして実情を知らせる必要があると思います。
- ・地域全体(一部の人ではなく)で開催してほしい
- ・もちろん各地でひらいてほしい
- ・講演会は必要です
- ・そのように思う。地道な活動が大切である。
- ・継続して犯罪被害者への支援を訴えることが大切です。
- ・国民の一人ひとりに十分、被害者の状況を知ってもらえるよう、このような催しを全国各地で開催していくことが大事だと思います。
- ・被害者の事を知ってもらうためにも、被害者が他の被害者の方の経験を聞ける場でもあるのでぜひやってほしい
- ・地方においても取り組んで行く方がよい 多くの市民は内容を知らない 無関心が多いので
- ・良い。拉致被害者はよくあると思う。
- ・啓発事業として大切だと思う
- ・被害者の家族を支えるためにももっといろいろな場で行ったほうがいい
- ・多勢の方に、被害者の実態を知っていただくことが大切。開催される事を望みます。
- ・被害者の事は報道でさらっと聞くだけでしたが、生の声を聞けた事は良かったのでこれから開催してほしいです。
- ・思います。参加するにはもう少し知識が必要
- ・少年法を大事に思っている。各地の保護司会で講演されたいかがか。
- ・多勢の人に分かってもらった方がよい。1人の力では何もできない
- ・市民に多数参加を呼びかけ定期的を実施。
- ・制度等の充実には周知・啓発はかせないで継続すべきである。
- ・自治体と一緒に広く開催してはどうか
- ・日常のお仕事や用事もたくさんある中で、本当に大変なことだとは思いますが、引き続き今日のような機会を日本各地で開いていただきたいと思ひますし、今日は年配の方が多かったように思ひますが、子ども向けの講演会も開くべきと感じました。
- ・絶対すべき。ただ、どこかの大学とかでやるとか、休日にやるとか、もっと若い人たちにも話が聞けるような設定を考えてほしい。
- ・今後も同様の取組みを通して、もっと多くの人々が現状を課題としたらよいと思ひます。
- ・思わない
- ・より広く一般の方々にも参加いただけるよう、あらゆる媒体を活用し、PRしながら引き続き実施された方がよいと思ひます。
- ・もっともっと多くの人に知ってもらうためにこの様な催しをして、いろんな地区で広報活動をしてほしいと思ひます。今日参加して本当に心から応援したいと思ひました。
- ・全国民に知らせてほしい。小学生から、大学・社会人にも講演して、人形劇など見せてわかりやすくしてほしい
- ・犯罪被害者の声は、事件直後のマスコミ報道などで知る程度。直接、犯罪被害者の本当の声をきくためにも、犯罪被害者の権利向上をはかっていく上にも重要です。開催してください。
- ・加害者の立ち直り支援も再犯率を少なくする為必要であるが、被害者の精神的な立場をどうしていくかも大事である。

Q7 その他のご意見、ご感想について、下欄にご自由にお書き下さい

回答

・凶悪な事件が毎日のように起き、心が晴れるようなことがありません。これも現実です。私達もいつ被害者になるかも知れません。今、人と人のつながりが薄くかないしい思いです。何かにつけ地域とつながっていく生活をしていきたい。・日本の国が変わらないとどうにもならないと思います。

・仕事の関係午後からしか時間が作れないのでPM1:30～PM2:00ぐらいからの時間帯を望みます。

・あまりにも、むごい現実に、驚き、イカリ、。変な日本ですね。加害者がのうのうと生きているところに、なんでなんと思えます。この様な苦しんでいる事を少しでもバカげたテレビ番組ばかりせず、何か方法は無いものかと人々にうたえたい。

・日本の法律は罰則が甘い。人形劇、被害者の家族がされていたのは驚きました。がんばって下さい。

・地域社会の支えを考えるフォーラム 被害者の二次三次の問題点も本来加害者がになうものを被害者の方が日本の法律はどうなっているのかいきどおりを感じる。・第2のケルンになる

・他人事ではない現在の社会、ひとりひとりが自分のこととして考えなければならない。何かそのきっかけを投げかけるいい知恵はないものでしょうか。

・非常に勉強になりました。自分になって、何もできないかもしれませんが、被害者のために、何かできることがあれば協力させていただきたいと強く感じました。

・被害者支援の仕事に携わっているのが被害者にはまだまだ細かい支援が必要だと思った。母子家庭、休暇、被害者と犯人とが同一地域で生活する場合の地域の支援。がんばりたいと思います。

・始めて参加し分からなかった事多く、これから注目してゆきたいと思えます。がんばって下さい。体験者に一日も早く心安らぐ日がありますことを祈ります。

・生なましい体験報告には大変驚きました。法的にも被害者への支援を早急に考えると共に犯罪者への厳罰をもっと与えるべきだと思います。

・犯罪のない社会になることが一番良いと思えますが、現実には難しいことです。誰もが被害者になる可能性が常に存在するという事もあり、啓発が非常に大事であると考えます。

・被害者がこんなにひどい目にあっているとは知らなかった。何とか支援(病院費だけでも)実施してほしい。国民皆に現状を大きな声でつたえてほしい

・忘れられた被害者 犯罪関係者の子供たちのくらしのケアが大切

・今、パラリンピックが行われていますが、オリンピックと違い皆さんの関心は低いと思います。障害をかかえて人の何倍努力をしてオリンピックに参加した選手達を見るたび涙がでます。これと同じように犯罪被害者の人達に対してあまりに一般の人達は関心がうすい事が残念です。罪を犯した人達は刑に服すればそれですむのでしょうか。人間ならば社会に復帰しても心の痛みは残るでしょう。被害者に対しての気持ちがない事が残念。今日の話の中で遺族給付金が出る事をはじめて知りました。いかに私達一般人が無関心であり世の中を知らないか反省しております。

・高橋正人弁護士様のドイツのトラウマ援助庁の話のような事をいち早くやっていく。前向きにそのサービスを提供するという話は素晴らしい。団塊の世代の人達に、こういうフォーラムを通し、是非参加し協力してもらえ様、今から問題提起する。・いつ誰がどこでどんな場面に出くわすかわからない。もっともっとこの会を広めていってほしいと思えます。

・行政の発言が、制度論ばかりで、福祉は心、人という堀川さんの発言にある様に期待できない行政というイメージである。事件がおきたときに、本当に何かしてくれるのか不信である。勝ち取ってこられた側との温度差がある。もっと本気になってほしい。

・パネルディスカッションで色々な事例を知りました。特に高橋弁護士の色々な事柄、又意見、今後進めて行く意気込みなどとても参考になるし、応援したい 又は摂津市の取組みにも同感。高橋先生のヨーロッパ経済の話などとても参考になりました。

・更生保護女性会としては加害者にも被害者にも区別せず温かい(言葉、まなざし)をしていきたいです。

・今現在保護司として交通関係の対象者を持っています。加害者の更生に対しての話し合いはできるものの、被害者の心情、具体的に把握できませんでしたが、本日の講演を聴き、被害者の想いを知ることができ、これからの処遇に役立てたいと思えます。参考になるお話を聞かせていただきありがとうございました

・うらみとか関係のある犯罪に巻き込まれるのではなく、なんで私かという事件にまきこまれる事件が低すぎる。これからの取組みの大変さを思う。

回答

- ・被害者についてもっと知る必要があると思います
- ・私もいつ被害者になるかわからない社会の中、被害者の気持ちを聞く事ができ、勉強になりました。法律・司法も動き出して一歩からでも良かったかなと思います。私の市にも早く摂津市のようなことができたらと希望します。
- ・何時何が起こるか分からぬ今日この頃犯罪被害者の家族を想像するとたまらない。犯人が逮捕されても心のきずは終わらない。
- ・第2のケルンに日本がなるよう・ケルンモデル、ぜひ参考に！（5名）
- ・摂津市の犯罪被害者等支援はすごくすばらしい。他の自治体に於いてひろがってゆけば良いと思う。
- ・質問をしたかったです。
- ・人形劇や体験談で、ほんの少しでも被害者の方の状況や制度について理解できました。私の周りで、被害者がいらしたら、二次的被害を与えないようにすることか、このような問題について関心を深めていくことが、まずできることかと思いました。裁判所へ通う交通費の問題、慰謝料本払いの問題など、始めてお聞きし、加害者支援でつかわれる予算を同レベルの額を、被害者支援に利用していくべきだと思いました。本日は、貴重なお話ありがとうございました。（人形劇の加害者が、罪からのがれるために、精神科に通うというような内容がありましたが、そういう方もいらっしゃるかもしれませんが、精神科に通院している人に対する偏見につながらないのか心配になりました。）
- ・始めて参加させていただきました。ぼう然としております。被害者の方に対して気の毒にという同情的な気持ちなんかではたとえられない気持ちです。私の身内で保護司をしておりますが、研修会等多々ありますが、今日のような会には、参加した方がよいと思います。特に少年犯罪での「はれもの」を扱うような保護観察制度は絶対におかしいと思います。また、殺人犯が出所後生活保護を当たり前のように受けて日常生活を送っていることもおかしいと思います。もっと国の制度を見直してもらえよう、あすの会が発展されることを望みます。
- ・人形劇等を学校や地域等で上映してはどうか。・なかなか広く犯罪被害者の状況がわかっている。
- ・被害者の皆さんが置かれている立場が非常に劣悪なのが伝わってきた。
- ・更生保護の手だすけをしていますが、被害者の思いをつたえるべきだと思う。犯罪者を立ちなおすのにこれから被害者のいることをしっかり考えて活動したいと思います。
- ・被害者の皆さん、今日、ご自身のことをお話されるのは、すごく勇気のいる大変なことだったろうとお察しします。私は、大阪府茨木市で市議をさせて頂いていますが、今回のようなフォーラムは初めてでした。特に、知識も情報もないまま、お話をきかせて頂いたのですが、被害者支援の不備、人を守ると思っていた法の不公平さを実感しました。まさに「法は人を排除する」ってこのことだなあと感じました。茨木市では、犯罪被害者支援の啓発を始めたところですが、今日より具体的に必要な支援がどのようなか教えていただいたので、おとなりの摂津市さんに負けじと施策に結び付けていきたいと思います。今後共宜しくお願い致します。ありがとうございました。
- ・今日のお話が聞いてよかった。これからもっと犯罪や被害者について勉強していこうと思った。ありがとうございました。何というか、はじめて思い知らされたことが多すぎて、今は頭の中いっぱいいっぱいです。この事実をもっともっと伝えていくべきやと思います。大変なことやと思いますが、これからも頑張ってください。できれば質疑応答の時間もよかったなあとと思います。
- ・非常に参考になり有意義でした。ありがとうございました。
- ・高校3年の夏、私は友人をひき逃げで失いました。結局犯人は捕まらないまま、去年時効をむかえました。5年間、私は受験・浪人・県外大学へ進学とバタバタしていたのを言い訳に、悲しみにひたるだけで何も、犯人を探す努力をしませんでした。思いつきもしませんでした。警察がやってくれると思って。怒りをぶつける相手を私は永遠に失いました。今だに考えます。未解決事件で苦しめられていると、お話を伺いました。寺田様。がんばって下さい！負けしないで下さい！犯人は必ず捕まります！「しない後悔より、した後悔の方がよい」私がいつも自分に言い聞かせている言葉です。犯人が逮捕され、しかるべき罰を受けることを、寺田様のご家族の心が少しでも晴れることを願わせてください。
- ・私は数年前「あすの会」については新聞で知りましたが、詳しくはわからず最近になって「アドボカシーセンター」の講習会に参加することができました。これからは、このような会にもっとたくさん参加していきたいです。
- ・高橋正人先生におかれては、加害者の弁護はなされないのですか？被害者側にたったフォーラムですが、加害者又は加害者周辺の被害ということを考えた結果？
- ・体験報告、パネルディスカッションの様な話を情報を皆に知らせて行く事も大事だと思う

回答

- ・つらいでしょうが現実を社会に知らせるためがんばっていただきたいと思います。
- ・少年事件、刑法39条案件については、まだまだ被害者の権利利益が守られておらず、ひどい状態。もっと被害者側にたった法制度の改善が今すぐにも必要。
- ・被害に対して民事訴訟できないものでしょうか。
- ・更生保護の仕事に関しては被害者支援の件とは違ったこと。しかし少年達にも被害者の件はもっと知らせるべき、向きあわせるべきだと思います。
- ・裁判官は被告(悪者)の味方だと思います。刑期の短いのは議員(国会)の責任だと思います。だから再犯が多いのではないのでしょうか? 治安が悪くなったのは刑法が時代にあわなくなっているのではないかと思います。
- ・民事訴訟の判決で賠償額が決まっても加害者から支払われていない実情に驚きました。被害者の声が一番です。パネルディスカッションというより、それぞれの講演を聞いているようでした。始めの自己紹介も長く、摂津市の方の話は長すぎました。お話はやはりプロの方は聞いていてわかりやすかったです。
- ・すごく勉強させていただきました。
- ・傍聴に対する交通費と休暇の負担などが必要とわかりました。今日は頭いっぱいつめこんで帰ります。これからは行政の推進に努めます。摂津市に追いつけ、追いこせで目指します。地域で支える町づくりにがんばります。フォーラムは手作り感があってよかったです(ちょっと長時間すぎたかなあ)
- ・賠償金等の不払い、不履行をもっと強制力をもって行うべし。マスコミはもっと、被害者に気をつかうべし
- ・犯罪被害者になってみないことには、わかってさしあげられないと思います。犯人がつかまっても、被害者の方が元どりに(精神的にも)どることはできないと思います。
- ・御自身の大変つらい経験をふまえて社会の為に役立てようとされている。活動には本当に頭が下がります。社会における大きな"保険"の意味合いが強い様々な支援はまさに政治問題として取り扱うべきと考えます。現在も苦しんでいる被害者、そしてご遺族の為に十分な(十分なことは決まっていますが少しでも)法整備、行政支援が早く確立されることをのぞみます。政治茶番をしている場合ではない。
- ・加害者に対してはもっときびしく罰するべきだと思うことが多い
- ・被害少年の保護がまず必要。被害者に対する配慮も十分に考慮する。(情報を伝える)
- ・私は約3年前、早朝(4時頃)にしのびこみ犯罪にあった被害者です。ピッキングで侵入に30分間という短い時間内にマンション8階に入り、銀行カード、クレジットカード、運転免許証などを盗まれキャッシングに商品の買い物、およそ180万の被害額でした。カード会社への一部支払い(保険無効、キャッシング)もありましたが、その後いつまでも恐怖におののけていたのは刑事の言葉、「気がついて犯人にでくわしていたら殺されていたよ」ということでした。わずか30分間に外から2階に飛び上がり1階に降りて仲間を引き入れ(合計3人)ピッキング、カードを盗み逃走と犯行に及ぶ前に私の行動を見張っていなければできないこと。被害者になってはじめて警察が身近になり、気になり腹のたつことが多い。肉親を突然殺されたという人からみれば私の受けた事件は語るに及ばないことかもしれませんが、苦しみを味あわされた重さははかりしれないものです。犯人はまだ捕まっていません。警察からは事件当日以後何も報告なし。こちらからTELで何度かたずねましたが。
- ・大変有意義な時間をすごさせていただきました。この経験を他の人にも伝え、広げていきたいと思っています。
- ・私は今大学院生で、犯罪者の更生への支援や、一般の人々が「犯罪の被害にあうかもしれない」という不安を軽減するための心理学的な施策についての研究を行っています。特に、犯罪被害への不安という部分において、被害者支援についてもっとよく知っておきたいと思い、フォーラムに参加しました。フォーラムに参加して、犯罪被害者の方々がおかれている状況が、自分が考えていた以上に残酷なものであることを知りました。被害者をもっと守られていなければ、犯罪者がどんなに更生しても被害者にとっては何の意味も持たないし、どんなに防犯や犯罪被害への不安を低減するような施策が打ち出されても、不安は消えないのではないかと思います。これからの犯罪研究や政策、司法には"被害者"という視点、観点が重要なんだという事を実感しました。ありがとうございました。
- ・色々な方のお話が聞けてよかった。
- ・問題が大きく、じっくりと考えたい。国民全員の問題で、人の意識が大きく関わると思う
- ・大変勉強になりました。また参加させていただきます。
- ・辛い心の内を第三者に向けて言葉にするというのは、大変なことだと思います。ですが、こういった機会をもって生の声を発信していただくことは、とても影響が大きいことだと思います。現に今回をもって犯罪被害者の皆さんの声の代弁者が何百人もうまれたのではないのでしょうか。